

July 2017

# Media Pages



アナログ & デジタルメディアを学ぶ。

相模女子大学メディア情報学科情報誌「Media Pages」 vol. 3

<http://www.sagami-wu.ac.jp/>

## 電子メディアに詳しい池下先生の Chat

[www.sagami-wu.ac.jp](http://www.sagami-wu.ac.jp)  
を検索して、ね

何を教えていますか

メディア情報学Ⅰ・Ⅱ、Web システム論Ⅰ・Ⅱ、マルチメディア、マルチメディア演習、情報リテラシーⅠ、情報処理概論、Web 制作や Web デザインに関わることをメインで教えています。

教えるときの工夫

一人一人が理解できているかどうかを確認しながら進めることを心がけています。スライドを使ってわかりやすくしたり、映像を見てもらったりしています。



おすすめの本

『デザイン Web アクセシビリティ - アクセシブルな設計やコンテンツ制作のアプローチ』（太田良典 著、伊原力也／ポーンデジタル）

電子書籍について、どのような活動をしていますか

電子書籍や電子絵本のアクセシビリティについての研究や、制作などを行っています。また、外国語学習支援として「Kids' Book Project」に取り組んでいます。

未来のメディア女子に伝えたいこと

『一期一会』、大学生活での人との出会いを大切に。その後の人生の糧になります。

## 本が大好きな塚本先生の Interview

メディア情報学科の制作室を訪ねて、デザインな塚本先生のおはなしを聞きました！

塚本先生が思う情報デザイン

生活デザインはプロダクトで制作することが多いですが、メディア情報学科で教えている情報デザインは視覚を使ってデザインします。色・配置・構成を考えた上で、画面の中で何を伝えるのか、どうすればよりよいメッセージを伝えることができるのかを考えるのが大切です。そのためにはデザインの役割を考え、メッセージを伝わりやすくしなければなりません。そのようなことを踏まえて、私のゼミではデザインを作成します。今はオレンジジュースのパッケージのデザインを制作しています。イメージマップ、アイデア出し、プレゼンなど全て学生がやり、完成したパッケージのオレンジジュースは実際に販売されます。

デザインと書籍について

私は本が大好きです。もし本を制作するならパソコンの良いところを使いつつ手作りで、温かみのある相手に伝わりやすい絵本を制作してみたいです。飛出だす絵本も制作したいと思います。私はロバート・サブダの飛び出す絵本をよく読んでいます。飛び出す絵本には、本を開いた時の驚きや楽しみがあり、次のページを捲る楽しみが詰まっています。電子書籍にはない本とのコミュニケーションだと思います。



## メディアと英文のコラレーション

### Kids' Book Project

'Nice to meet  
you!'



Media



#### 子供の絵本プロジェクト

君たちに会えてうれしいよ！私は玉ねぎ。私は英語文化コミュニケーション学科の学生によって作られた、英語の絵本から生まれたんだ。今、私の友達にのんじん、ブロッコリー、じゃがいもと私はいろいろな場所に住んでいるよ。メディア情報学科の学生が私たちをデジタル化したんだ。電子絵本で、英語でも日本語でもしゃべるよ。相模女子大学の小学生たちは、私たちの story を読むことが大好きで、私たちの手作りキャラクターをだっこしてくれるんだ。8月の相模女子大学 Kids' サマースクールの間に豆の本の中に現れて、私たちはアニメーションデビューもするよ。たくさんのメディア内で会えることを楽しみにしているよ！

また会おうね！玉ねぎとその友達たち



作品：Vegetables Chop! Chop! Chop!



図書館員さんもお気に入り！

メディア情報学科が作った、  
ファッション雑誌のような図書館報「さがみ 99 号」



この冊子について、何か学生から反響はありましたか？

図書館報「さがみ」は、新入生オリエンテーションで、1年生のみなさんに配布しています。今年は、これを手に持ちながら来館してくれる1年生がいて、それはすごく嬉しかったのを覚えていますね。

三好さんが気に入っているところはどこですか？

私が気に入っているのは表紙です。今回、表紙のデザインを全面的に学生さんにおまかせしました。本人も色味などを悩んでくれて、最初は写真だけの表紙だったものを、これまでのデザインに仕上げてくれました。学生のみなさんは、「今、デキる女子大生は図書館にいる。」というキャッチコピーに惹かれて手に取ってくださるみたいです。これも、図書館員からこうして頼んだわけではなく、学生さんが考えてくれました。学生目線で作ったものは、学生さんに見てもらえることを実感しました。

図書館で行っているイベントの中で、新入生に参加してほしいものはなんですか？

図書館案内ツアーです。新入生の方には、是非、初めに図書館に足を運んでもらいたいです。図書館というと暗く、勉強しなくちゃいけないようなイメージがあると思いますが、この図書館にはDVD やファッション雑誌や漫画なども置いてあります。図書館を一度見に来てもらえれば、楽しく利用してもらえそうです。



作品：「さがみ 99 号」

## メディア女子紙派のお気に入り



『忍びの国』和田竜 著 / 新潮社

この本は戦国を舞台とした日本歴史小説です。2017年7月1日に全国で公開される、嵐の大野智さんが主演の映画の本です。私自身大野さんのファンなので、普段本を全く読まないのですが、大野さんが主演する映画という理由だけで小説を読んでもみようという気になりました。また帯の広告も楽しみの一つです。電子書籍には帯がついてないので楽しみがありません。正直電子書籍は使い慣れていませんし、ほぼ電子書籍を利用したことがありません。ものとして形に残るし、今までずっと紙の本で読んできたので、本を読むと言ったら紙の本です。 H.K.

『Scanimation®』シリーズ Rufus Butler Seder 著

/Workman Publishing (®Eye Think, Inc.)

私は子供の頃、よく祖父と一緒に絵本を読んでいた。私たちはいつも絵に合ったおかしな声や動きをし、遊びながら、自分たちで物語の世界を作って、物語に命を吹き込んでいました。大人になっても私は絵本を楽しんでいます。とくに、Rufus Butler Seder の『Scanimation®』という絵本シリーズが気に入りです。本を開いてページをめぐると登場人物が生きて動いているように見えるのです。Scanimation® は特許の製本の技術と、古風な動画作成技術が組み合わさってできた本です。Seder の絵本は楽しく、絵本の物語を伝える可能性を考えさせてくれます。 J.R.



&



## メディア女子電子派のお気に入り



『愛は時空を越えて』シャロン・サラ 著 藤峰みちか 訳

/DS ハーレクインセレクション、ジニアス・ソノリティ (電子版)

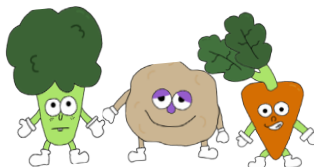
私は中学生ころから電子書籍を読んでいます。Nintendo DS ソフトで本を読むと、ボタン一つでページをめくれるので便利です。これまでのあらすじや注釈、人物相関図をいつでも見れるので分からないことがあっても平気です。私のお気に入りの機能は BGM を変えることができる機能です。その日のムードに合わせてくれるので気分もリラックスできます。私がおすすめする本は『愛は時空を越えて』です。サスペンス、ファンタジー、恋愛がミックスしてスリルがあります。 M.O.

『遠くの日には青く』西造、世叛 著 / comico (電子版)

私のお勧めの電子書籍は、comico という漫画アプリで連載している、短編集の漫画の、「遠くの日には青く」です。内容は、日常、恋愛、ギャグ、SF、ホラーなど、さまざまです。漫画の見どころは、短編であるにも関わらず、内容が濃く、深いところです。読む人によって解釈が異なり、何度も楽しむことができます。また、カラーで、作画が繊細で、とても綺麗なのも特徴です。縦スクロールを利用した、動きのあるコマ割りに、退屈せず、楽しく読めます。 M.S.



We love...



アナログ & デジタル!